

食品ロスに関するアンケート調査結果

1 市民（消費者）向けアンケート調査

(1) アンケート概要

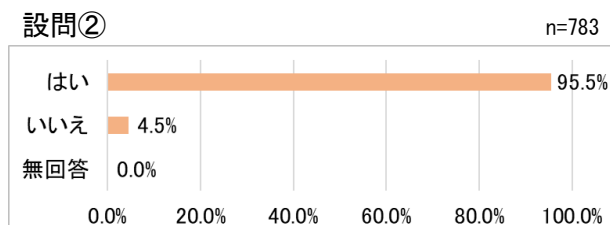
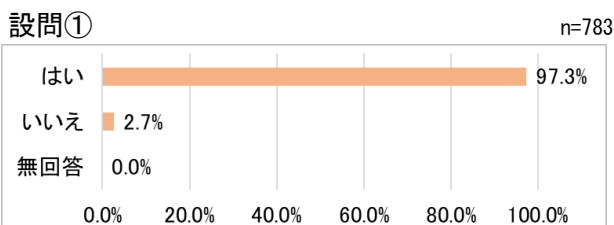
本市が毎月1日に実施している「ごみ減らそうデー」において、買物客を対象として、アンケート調査を実施した。

- ア 対 象 ごみ減らそうデー参加者
 イ 調査期間 令和5年6月～令和6年2月
 ウ 調査方法 スーパーマーケット店頭でのアンケート用紙への記入
 エ 回答人数 783人

(2) 調査結果

- 設問① 「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。
 設問② 「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

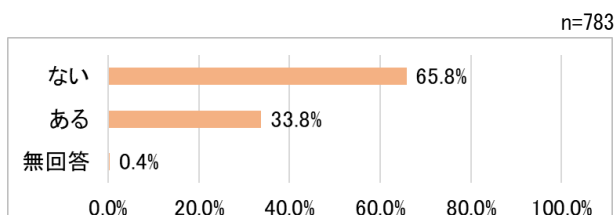
食品ロスの問題への認知度は97.3%となっており、食品ロス削減の取組を行っている人については95.5%となっている。



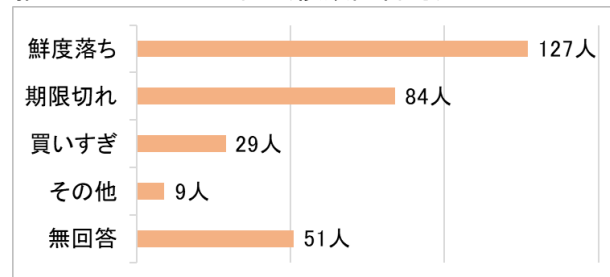
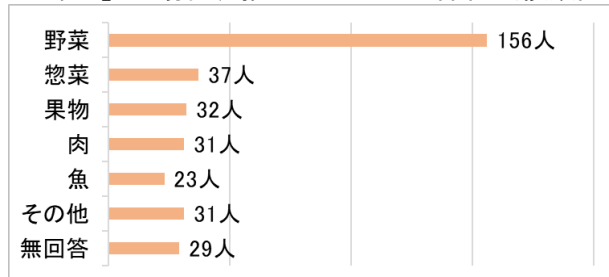
- 設問③ 最近（過去2～3ヶ月程度）、食べ物に手を付けずに捨ててしまったことはありますか。

「ない」と答えた人が65.8%、「ある」と答えた人が33.8%となっている。

「ある」と答えた人が捨ててしまった品目は、野菜が156人と最も多く、それに続いて、総菜、果物、肉、魚となっている。また、捨ててしまった理由としては、鮮度落ち127人が最も多く、それに続いて、期限切れが84人となっている。



- 「ある」の場合、捨ててしまった品目（複数回答可） 捨ててしまった理由（複数回答可）



2 事業者向けアンケート調査

(1) アンケート概要

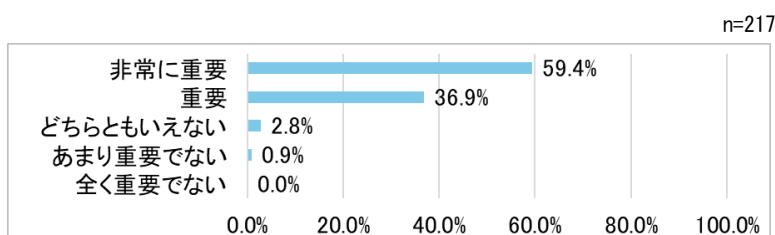
本市の食品ロス削減協力店を対象として、アンケート調査を実施した。

ア 対 象 食品ロス削減協力店 657 店舗
イ 調 査 期 間 令和6年4月
ウ 調 査 方 法 郵送による配布・回収
エ 回答店舗数 223 店舗

(2) 調査結果

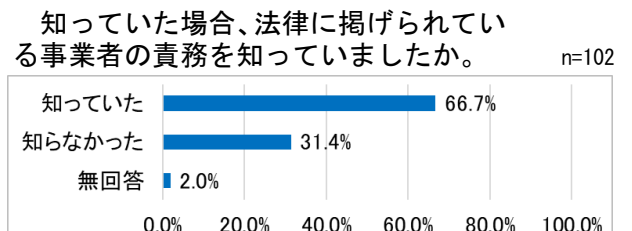
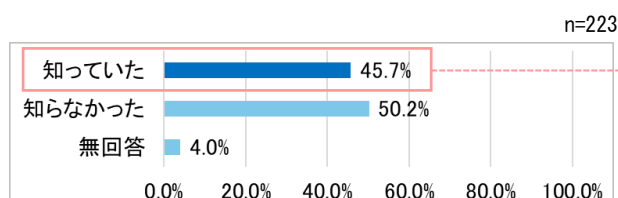
設問① 貴店では、食品ロス削減はどの程度重要な課題として認識していますか。

食品ロス削減を重要と認識している店舗は、「非常に重要」「重要」と答えた店舗が 96.3% となっており、ほとんどの店舗が重要な課題と認識している。



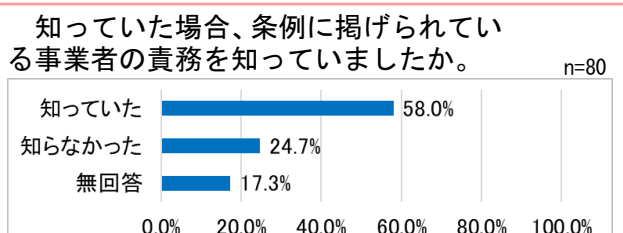
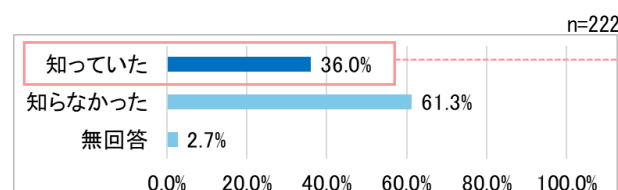
設問② 貴店では、国において「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されたことを知っていましたか。

国の法律が施行されたことを知っている店舗は 45.7%にとどまり、半数以上の店舗が法律の施行を知らなかった。また、法律の施行を知っていた事業者のうち、事業者の責務を知っていた店舗は、66.7%となっており、回答店舗全体でみると約3割しかいなかった。



設問③ 貴店では、広島市において「広島市食品ロス削減推進条例」が施行したことを知っていましたか。

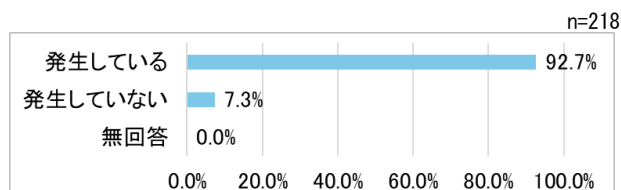
本市の条例が施行されたことを知っている店舗は 36.0%と少なく、6割の事業者は条例の施行について知らなかった。また、条例の施行を知っていた事業者のうち、事業者の責務を知っていた店舗は、58.0%となっており、回答店舗全体でみると約2割しかいなかった。



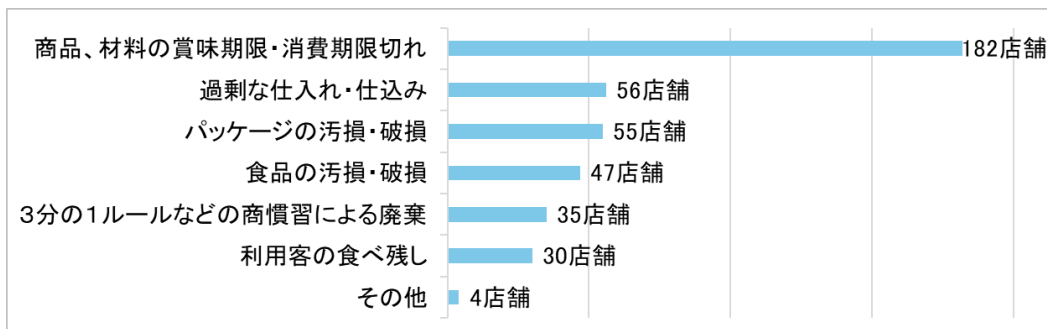
設問④ 貴店では、食品ロスが発生していますか。

発生していると回答した店舗は 92.7%と 9 割以上の店舗で食品ロスが発生していた。

また、発生している場合の要因については、商品、材料の賞味期限・消費期限切れが最も多く、それに続いて過剰な仕入れ・仕込み、パッケージや食品の汚損・破損となっていた。

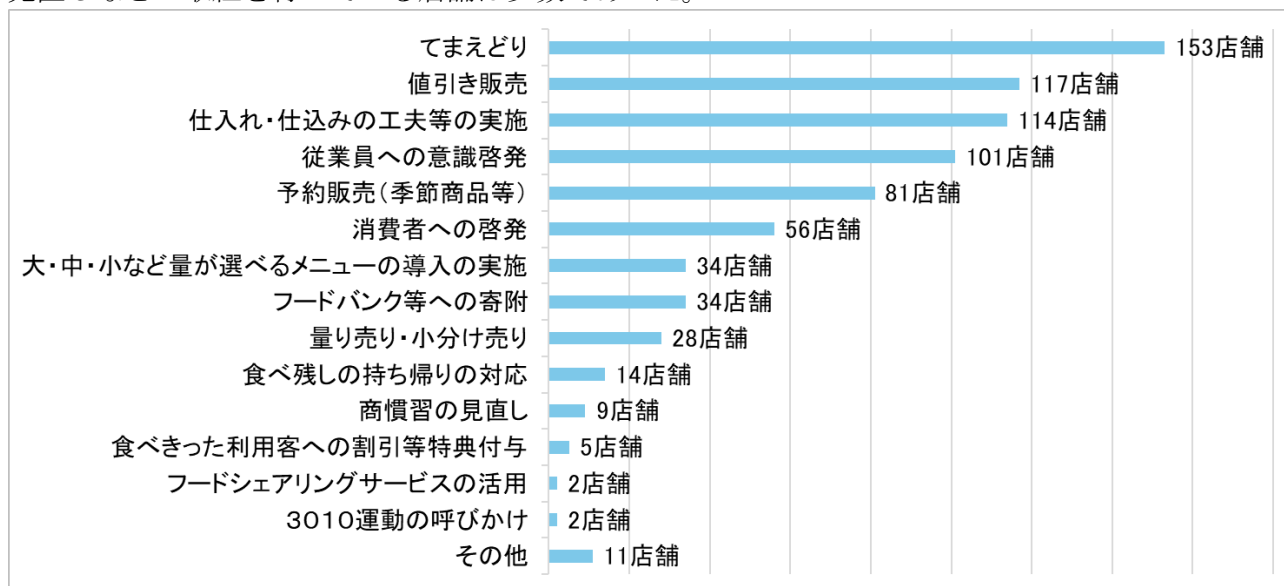


発生している場合、食品ロスが発生する要因は何ですか。（複数回答可）



設問⑤ 貴店では、食品ロスを削減するために、どのような取組をしていますか。（複数回答可）

てまえどり、値引き販売、仕入れ・仕込みの工夫等、従業員への意識啓発、予約販売などの取組をしている店舗が多く、フードシェアリングサービスの活用や食べ残しの持ち帰りへの対応、商慣習の見直しなどの取組を行っている店舗は少数であった。



設問⑥ 貴店が食品ロス削減に取り組むにあたっての課題は何ですか。（複数回答可）

仕入れ・仕込み量の最適化、消費者及び事業者の知識・意識の向上、販売機会の損失と顧客満足度の両立などに対して、課題を感じていると回答している店舗が多かった。

